# 一部農民人の令〈便り 100号を迎えました。

平成29年7月に創刊した『営農せんりゃく便り』は、毎月上旬に発行し、各JAや連合会へお届けしていますが、このたび記念すべき第100号を迎えることができました。

創刊当初より、「営農戦略室による取組内容や行事予定等をタイムリーにお届けすること」を目標に、TAC活動や担い手支援、園芸振興、営農指導、資格試験等に関する情報のほか、食育や国消国産の取組など、営農戦略室の各担当が記事を作成し、発信してまいりました。

この間、農業人口の減少や農業環境の変化、デジタル技術の導入のほか、自然災害にも悩まされるなど、JAや農業を取り巻く情勢は大きく変化していますが、JAグループ石川として「地域農業の発展に貢献する」という思いは変わることなく続いています。

今後も、JAの営農活動を支える「身近で頼れる情報紙」となるよう、 内容のさらなる充実をはかり、次の100号、そしてその先へ向けて 皆様により良い情報発信を続けてまいりますので、変わらぬご愛読 とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

> 令和7年11月6日 JAグループ石川営農戦略室 室長 川 本 幸 進





















# TAC·営農担当者研修会



10月9日(木)に、TAC・営農担当者を対象に「営業力・推進力の向上」を目的とした研修会を開催し、6JA24名が参加しました。

今年度、各JAにおいて米の集荷率向上が重点的な取組みとなる中、本研修会では、TAC・営農担当者としての"あるべき姿"の再確認や、現状の米穀情勢等を共有するとともに、"脳と心の専門家・林健太郎氏"を招き、担い手に対する推進や提案を行う際に必要となるスキルや考え方の習得を図りました。

林氏からは、「人は頭の中で限界を作ってしまうので、できる・それ以上やれるという環境作りが重要」、「出向く際は、相手が受入準備できてから訪問する」、「仕事以外の話で訪問し、コミュニケーション・繋がりを深めることで仕事に繋がる場合がある」など、脳の仕組みを踏まえた様々な手法についてご教示いただきました。



参加者の皆様におかれましては、今回の 研修会を今後の担い手訪問に活かしてい ただき、米集荷率の向上をはじめ、JA事業 への貢献に繋がることを期待しています。

営農 担い手

## 11/1 農林漁業まつり「農作業事故VR体験」ブース



11月1日(土)に、「第46回 石川の農林漁業まつり」内で「農作業事故VR体験ブース」を設置し、農作業安全を呼びかけました。VR体験では、8つの体験動画の中から体験者の関心のある動画を選んでいただき、農作業事故が起こる瞬間を体験し、どうすれば事故を防げたのかを考えるていただきました。

来場者からは、農作業事故を疑似体験するということもあり、「面白そう」という声と、「怖そう」という声が聞こえました。実際に体験した方からは「ケガをする瞬間を見るのは怖かった」という感想もありましたが、「これまでのやり方が危険なことがわかったので気を付けたい」という声もあり、大切な気づきの時間になったと感じています。





# 11/1-2 農林漁業まつり 「国消国産」、「青壮年部」ブース、ステージイベント

11月1日(土)から2日(日)の2日間、石川県産業展示館4号館で「第46回石川の農林漁業まつり」が開催され、営農戦略室として会場内のJAいきいき広場に『国消国産ブース』、『青壮年部ブース』を設置し、それぞれの活動をPRしました。国消国産ブースでは、サイコロゲームやPR動画の放映、パネル展示をしたほか、青壮年部ブースでは看板コンクールやジャンボカボチャの展示、福引ゲーム等を行い、ブースは大いに盛り上がりました。

また、2日目には、料理研究家のしもおきひろこさんと本県国消国産アンバサダーの福島彩乃さんをお迎えし、食育をテーマとしたステージイベントを行いました。「ひゃくまん穀」などが当たる農畜産物クイズや、しもおきひろこさんによる試食コーナーを実施し、参加者からは「食品ロス削減への意識が高まった」といった声が聞かれました。







政策 推進

# 10/15 しもおきひろこさんの料理教室を開催しました。

JA石川県中央会は、10月15日(水)に石川県産の旬の食材を使用した料理教室を開催しました。本年度は、午前午後の1日開催となり、午前は、石川県立大学の学生を対象に、午後は、JA直売所の食育ソムリエ等を対象に、合計41名にご参加いただきました。

「手軽で簡単・楽しい料理」をテーマとし、講師は昨年度に続いて、テレビや新聞などで幅広く活躍している料理研究家のしもおきひろこ氏を迎え、軽快なトークやクイズを交えながら、参加者に分かりやすく丁寧に調理方法を指導されました。

参加者からは、「簡単に美味しく作ることができた」、「試食に活用できそうな旬のメニューを学ぶことができた」といった声が聞かれ、国消国産の理解促進や直売所の活性化につながる取り組みとなりました。







# 担い手営農サポートシステム・ログイン不具合



10月下旬より、システムログイン時に「ID検証」が 求められるようになり、大変ご不便をおかけしており ますことについて、改めてお詫び申し上げます。

全農本所とも連携をとり、11月中には元の形でログインできるように対応しておりますので、不具合が発生している方については暫くお待ちいただきますよう、お願いいたします。



### ~11月・12月の予定~

期日	内 容	場 所
11月6日(木)	売れる農産物の作り方と売り方のコツ	WEB
11月6日(木)	事業間連携研修会	教育センター
11月12日(水)	JA営農担当部課長会議	農業会館6F大会議室
11月12日(水)	農業経営指導者研修会(~13日)	教育センター
11月14日(水)	集落営農経営発展セミナー	地場産業振興センター
11月18日(火)	陳列技術	WEB
11月20日(木) ~21日(金)	TAC・出向く活動パワーアップ大会 2025	新横浜プリンスホテル、 農業会館2F会議室
11月25日(火)	営農販売改革推進会議	農業会館6F大会議室
12月2日(火)	地域営農マネージャー試験事前研修会	教育センター
12月3日(水)	第7回アグリビジネススクール	農業会館 他
12月4日(木)	農業経営指導者研修会	教育センター

【お問い合わせ先】JAグループ石川営農戦略室 玉野 TEL:076-240-5052 FAX:076-240-9120

